

落下衝撃試験装置

仕様および取付方法

香川県産業技術センター

軽量用落下試験機 型名：DT-205H 神栄テクノロジー(株)

1. 主な用途

製品，容器類，梱包物を対象とした落下試験（重量制限：5kgまで）
 試験体の落下姿勢を任意に設定可能（面落下，稜線落下など）
 自由落下試験も可能

2. 仕様

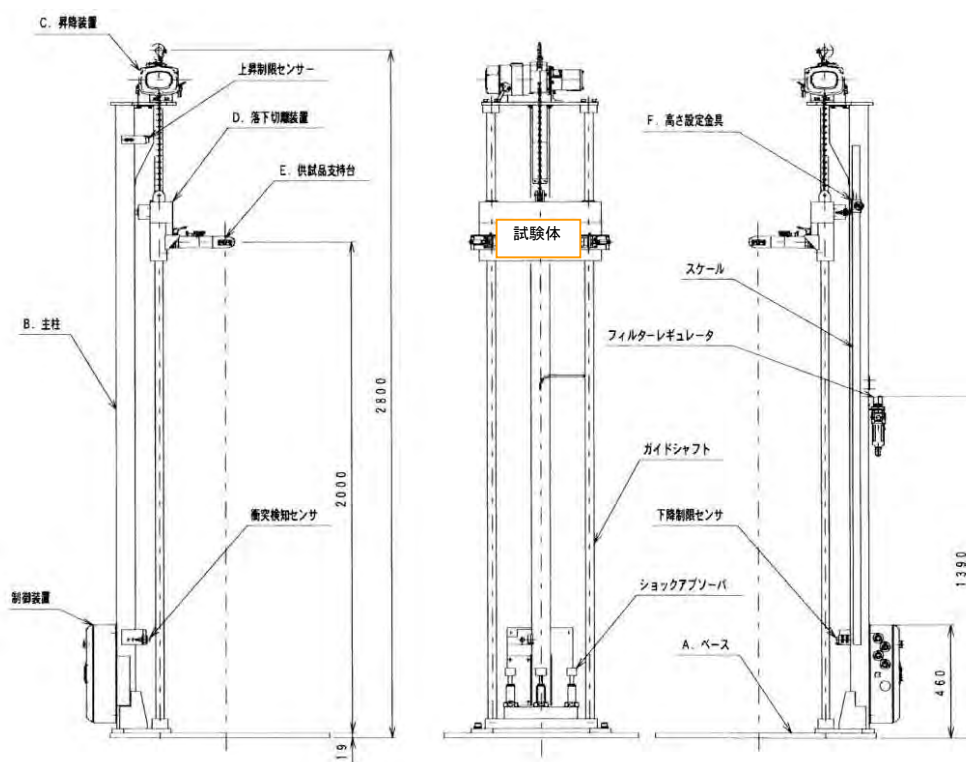
試験体 最大質量	5 kg
試験体 最大寸法	幅 400 mm × 奥行き 360 mm
落下高さの範囲	250 mm ~ 2000 mm
試験体保持部	保持部拡大図参照 (p2)
落下動作	永電磁ホルダによる
衝撃加速度計測	加速度測定範囲 : ~300 G 作用時間測定範囲 : 0.01~99.99 ms 速度変化測定範囲 : 0.01~9.99 m/s
衝撃波形分析機能 (加速度センサを取付けられる製品に限ります)	SRS (衝撃応答スペクトル) 分析 波形生成 (矩形波, 台形波, 半正弦波, 鋸波など) 3方向加速度自動合成 変位解析 反発係数 ※テキストデータ出力可

※ 保持治具は2種類所有しておりますが，試験体の形状に応じて，治具をご準備頂くことがあります。

※ 衝突面としては，鋼板(SUS304, t12 mm), ゴムシート(t1.0, 5.0mm)などを準備しておりますが，これら以外をご希望の場合には，個別にご準備頂くことがあります。

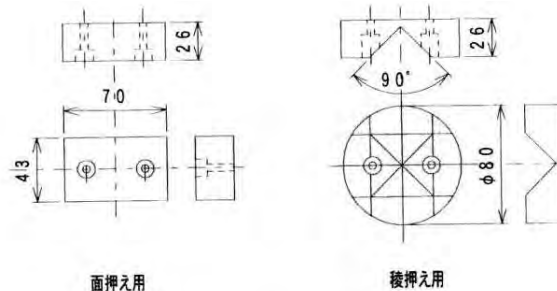
詳しくは，担当者(坂東，吉村)までご相談下さい。

3. 試験機



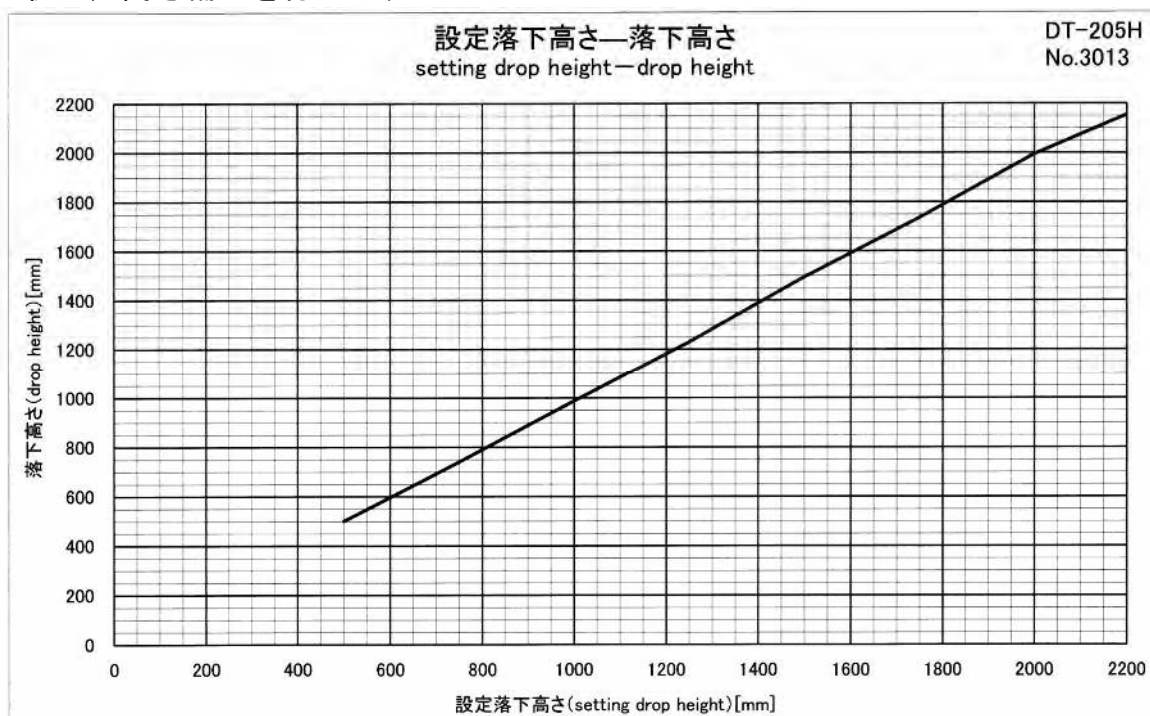
保持可能な寸法：400×360 mm (最大重量=5 kg)

試験体を左右から挟みこむように保持する。(治具形状 下図)



4. 落下高さ設定

構造上、試験の際に落下部と支柱との間で摩擦が生じますが、下図の特性に従い、高さ補正を行います。



取付け上の注意事項

- ・ 落下高さは、「試験体保持具」の高さに対応します。
- ・ 試験体は、保持具の下方に 200 mm 以上突き出さないように設置する必要があります。
- ・ 試験体重量は、最大 5kg までですが、試験体の表面状態によっては、保持具との間に十分な摩擦が得られず、保持できない場合があります。

落下試験の仕様

日付 / /

【企業名】	
担当者	E-mail:
所在地	〒
電話番号	FAX:

【試験希望日】	年 月 日 時～
----------------	----------

【試験体名称】	
重量	
形状・寸法	(縦×横×高さ mm)
(試験体(&治具)の簡単なスケッチ or ポンチ絵を描いてください)	

【試験仕様】	
落下高さ	m
落下面の指定	有 / 無 (有の場合) 鋼板, コンクリート板, 木材, その他()
落下姿勢の指定	有 / 無 (有の場合) 面落下 (面) 稜線落下 角落下
衝撃加速度分析	分析項目をご記入下さい